



東京むかでワイズメンズクラブ

THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO-MUKADÉ "CENTIPEDE"

Office : Tokyo YMCA Toyoko Center
2-2-20 Toyo, Koto-ku, Tokyo, Japan

〒135-0016 東京都江東区東陽2-2-20
東京YMCA東陽町センター内
TEL 03-3615-5565

会長 神保伊和雄
副会長 堀口 廣司
直前会長 今井 武彦

2024年7月～2025年6月
国際会長主題 「より良い世界のために、共に」
アジア会長主題 「大きなインパクトを起こそう」
東日本区理事主題 「ワイズの方向性を見極める」
東新部部長主題 「ALL 東新部、試練を超えて進もう！」

書記 伊丹 一之
会計 福島和州太郎
担当主事 本多 良章

2024年9月例会（751回）

（強調月間：EMC）

今月の聖句

神の栄光のためにキリストがあなた方を受け入れてくださったように、あなたがたも互いに受け入れなさい。
(ローマ信徒へ手紙 15-7)

Accept one another, then, for the glory of God, as Christ has accepted you. (Roman 15-7)

能登半島地震の

甚大な被害を忘れない！！

私共に出来る、息の永い支援を続けよう。

9月例会

日時 2024年9月17日（火） 18:00～20:00
場所 東京YMCA東陽町センター・YMCAホール
会費 ビジター 1,500円、メンバー 1,500円
※欠席の方は9/12までに福島まで連絡ください

9月 EMC について

Extension and Membership Conservation の意味。
E は、クラブ拡張(新クラブ設立)、MC は、会員の維持(啓発・退会防止)新入会員獲得の意。(今井 記)

HAPPY BIRTHDAY

9日 神保伊和雄 20日 本多 良章
22日 今井 武彦 28日 堀口 廣司
結婚記念日おめでとう
24日 堀口 廣司・栄子

9月 例会プログラム

受付・司会 福島和州太郎

開会点鐘 会長 神保伊和雄

ワイズソング 一同

ゲスト・ビジター紹介 司会

今月の聖句・感謝 会長 神保伊和雄

楽しい食事

卓話 2024年夏の第87回野尻学荘報告

キャンプマザー 橋本 美穂

強調月間アッピール 今井 武彦

ハッピーバースデー・結婚記念日 司会

スマイル 堀口 廣司

諸報告 福島和州太郎 他

閉会挨拶 長谷川正雄

閉会点鐘 会長 神保伊和雄

2024年8月の記録（*累計は期初からの24累計）

| 会員出席状況 | | メーキャップ記録 | | スマイル | 6,000円 |
|----------|----|----------|----|--------------|------------------|
| 正会員 | 7名 | 出席(メネット) | 0名 | 堀口 廣司 (第2例会) | BFポイント 現金累計 円 |
| 功労会員 | 1名 | 出席(コメント) | 0名 | | 切手累計 |
| 在籍者数 | 8名 | 出席(ゲスト) | 1名 | | |
| 出席(正会員) | 4名 | 出席(ビジター) | 0名 | 1名 | リングプル 累計 163.4kg |
| 出席(功労会員) | 1名 | 例会出席総数 | 6名 | 8月出席率 71% | むかで基金 今月分 0円 |

会費振込 みずほ銀行 亀戸支店（普通）3013071 東京むかでワイズメンズクラブ

8 月 例 会 報 告

東京むかでワイズメンズクラブ8月例会は、8月20日(火)18時より、東京YMCA東陽町センターYMCAホールで行われました。野尻学荘キャンプ開催期間中に現地を訪問、例会をキッツキホールで行うのを恒例としていましたが、コロナ禍以来、諸条件も重なり、現地での例会は叶わず、今年も昨年同様に、東陽町YMCAホールで「キャンプソングを楽しもう」としての8月本例会です。

野尻キャンプにご縁の深いメンバー達、湖面を渡る「野尻の風」を身近にしたい強い想いに、ゲストに丸山もと子さんをお招きして、ピアノでトミソングを導いていただきました。

司会はこの夏も野尻を訪ね、「野尻の風」に浸り、元気な今井武彦君が担当。「韓国・Kids World CUP」に同行し、大役を果たされた後の神保伊和雄会長の点鐘で開会です。聖句、食前の感謝を今井君が述べ、升本のお弁当をいただきました。新年度は在籍者8名でスタート、例会プログラム担当の重任も日常的で、今期も「オールむかで」の運営です。

静かなピアノによる導きは、1938年富岡正男作詞・作曲「美しい湖水よ」です。

音楽家の父の曲を、丸山もと子さんが奏でるピアノに、懐かしいほど穏やかな、野尻の湖面を思い乍ら、1937年富岡正男作詞・作曲 野尻学荘・荘歌「山々高く」を更に強い想いで声にしました。



【丸山もと子さんの伴奏で「トミソング」の数々を歌う】

「がったごととバスに乗って」、「そびゆる妙高」、等々…もちろん締めは「今日のわざ」。ピアノの響きに、少人数の参加者でしたが、大きく声が重なりました。次回は、木造のトラスと裸電球の下、キッツキハウスでの「トミソング」でありたいものです。丸山さんの、何時も変わらぬご協力に感謝いたします。

例会は、現・東新部々長とし奔走中の今井君による強調月間「戦略2032」の説明。ワイズ活動の5年後を見据えた、東日本区の答申結果が熱く語られました。

ハッピーバースデーは長谷川君の85歳を祝福。諸報告では、野尻キャンプ奮闘中で欠席の本多良章主事の想いを受け、オメガ修繕募金の検討、更に福島和州太郎君は、最近特訓中の「サックス」と「ボーカル」を担当するグルー

プの発表会を、近々地元で行う予定を公表。クリスマス例会で、丸山さんとの共演に期待の声がかかりました。前向きな話題に乗り、長谷川正雄君からは、自宅周りの生活感ある風景を水彩で描く昨今、柏駅直結のギャラリーで地元の方々との展覧会に出品予定、秋は直ぐそこです。

閉会挨拶は城井廣邦君に代わり、体調回復半ばで8月号ブリテン発行の労を務められた伊丹一之君が行い、神保会長の閉会点鐘で8月本例会を閉めました。

(長谷川 記)

出席者：神保、伊丹、今井、長谷川、福島

ゲスト：丸山もと子

(敬称略)

2024年8月 野尻学荘(第87回) 報 告

今年も感染症の影響もなく、第87回野尻学荘を開催することができました。

今回は、一部ニュースにも報道されていた通り、アウトイング地周辺において熊の目撃情報が頻出していたことから、残念ながらアウトイングの実施を中止することとしました。

キャンプ体制は、リーダー・スタッフ共に万全の体制を整えることができましたので、ボーイズは定員の40名を超えて、43名が第87回のボーイズを迎えることができました。またその内23名は初めての参加者でした。キャンプ全体としては、アウトイングが中止となってしまったため、グループ内の交流を深めることができるか心配されていましたが、その分キャビンアクティビティなどグループの時間をいつもより多く取ることができ、仲を深めていくことができていました。少しずつリピーターが増えてきたこともあってか、異学年の交流も早かったように思います。

昨年度に続き、今年も新しい実修が二つありました。「**土木実修**」ではキャンプ場の様々な場所の破損、蔓や藪の除去、除去したものを燃やしたりと整備に励んでいました。比較的低学年のボーイズでしたが、汗水を流しながら楽しそうに取り組む姿が印象的でした。二つ目の「**美術実修**」では、身近にあるものをデッサンしたり、キャンプ場の風景を水彩で描いたり、粘土を使った造形など基本的な技法を学びながら、芸術に向かう良き時間を過ごしていました。

12日目に実施した遠泳では、お島に渡る船が動かないという現状があったためルートを変更して、学荘から出発し湾内を大きな四角形を描くように1時間20分程度泳ぎ、学荘に帰ってくるものとしました。出発してすぐに4名のリタイアがありましたが、その後は少し遅れる分隊がありつつも、多くのボーイズが完泳することができました。

体調面では中盤まで発熱などの体調不良や怪我など幾度かありましたが、感染症などの病気は発生することなく、

元々途中離荘を予定していたボーイズ以外、全員が二週間の野尻学荘を行うことができました。

最後になります、むかでワイズメンズクラブの皆様によるご支援を賜りましたこと深く感謝申し上げます。今後とも変わらぬご支援をいただきたくお願い申し上げます。

(本多 記)

駒込病院入院の記

家から歩いて3分ほどのところにある山田胃腸科外科医院は、町の医院なのですが、レントゲンはもちろん、CT検査、MR検査、眼底検査など、先進の医療機器を備えた医院で、文京区の無料健康診断は、いつもこちらの医院で受けています。

7月上旬に右胸に痛みを感じて受診、CT検査で右の肺に白い病変があることが分かり、すぐに都立駒込病院の呼吸器外科の医師宛てに紹介状と検査画像の入ったDVDを渡されました。

中旬に駒込病院を受診してCT検査、その後3回通院してPET-CT検査、気管支鏡検査、X線検査などを受けて、その結果、右肺の中央部にできた癌を取り除くべく、8月2日(金)～10日(土)まで入院することになりました。

手術は5日(月)の午前中に行われました。手術室に行き、手術台に寝かされて麻酔の注射をされてからは、すぐに眠ってしまい、何もわからないうちに手術が終わっていました。

右の脇の下と胸の2か所を10センチほど切開、右肺の中央部を三分の一ほど切り取る手術を受けました。癌は親指の先くらいの大ささで、ステージ1の腺癌とのことでした。今現在(9/10)、右胸のしびれと、右腕が水平までしか上げられない後遺症がありますが、年末ごろには解消するだろうとのことで、もう少しの養生が必要のようです。

(伊丹 記)

堀口さんの夏休み

夏休みは8月15日～18日までいただきましたが、この間に故本行輝雄さん(江東センター主任主事、千葉Y総主事、同盟国内担当主事を歴任なされ2022年8月18日に78歳にて召天)の3回忌の会を山手学舎の同窓の皆さんと上林順一郎牧師(前早稲田教会牧師、学舎聖研指導)と奥様を囲む会に出させていただきました。気遣いと段取りの輝雄さんを偲び、上林先生は河野進さんの詩集『ぞうきん』の中から「あの人」の詩(いつ会っても 明るい感じ、和やかな感じ、さわやかな感じ、安らかな感じ、楽しい感じ、清らかな感じ、親しみ深い感じ、うれしい感じの人に)を取り上げ、本行さんはまさに「あの人」だったとお話してくださいました。本行さんも在職中は東京江東、千葉、東京ひがしワ

イズに所属していました。

本行さんだけでなく、7月は坂口順治先生(3回忌・立大教授)。新澤誠治先生(2回忌・江東みずべの会)。8月は飯 忍さん(13回忌)。森直樹牧師(2回忌・横浜Y評議員)と多くの故人を偲ぶことが出来、大勢の皆さんと再会し、美味しいお酒とお食事をいただいた、天国に昇ったような夏を過ごさせていただきました。(堀口 記)

会長通信

記録破りの暑さ、暑さの8月がやっと終わりました。でも9月になっても暑さはあまり変わらないようです。子供たちは新学期を迎え、暑さの中、夏休みの宿題をもって懐かしい仲間、先生のもとに思い出を沢山抱えて、元気な足を運びます。

8月に開催された東京むかでの例会は野尻学荘ではなく、東陽町センターで丸山もと子さんをお招きして、トミソングを中心に楽しい時を過ごす事が出来ました。来年は野尻湖のキツツキハウスで例会を開きたいと思っています。

今年の記録的な夏、暑さの夏、猛暑の夏、を越える事が出来たのですから！野尻での次年度の例会を楽しみに！元気が一番です。仲間と共に注意して歩みを続けましょう。

これからの例会予定、次年度へ

9月の例会 野尻学荘報告

10月の例会 Kids World CUP in Korea 報告

11月お楽しみ例会、12月：クリスマス例会、1月：新年例会、2月：タイム・オブ・ファスト例会、3月

4月：SENIOR Y・Y・Y キャンプの準備例会

5月：SENIOR Y・Y・Y キャンプの元参加者から、

「ぜひ待ちに待ったキャンプを開催しましょう。」との要望が多数来ております。

6月：次年度への継承

(神保 記)

< 9月の予定 >

3日(火) 東京多摩スマイル・9月例会

5日(木) 東京町田コスモス・9月例会

10日(火) 東京・9月本例会

17日(火) 東京むかで・8月例会

24日(火) 東京むかで・8月第二例会(18:00～Zoom)

< 10月以降の予定 >

5日(土) 東新部部大会(東陽町センター)

15日(火) 東京むかで・10月例会

22日(火) 東京むかで・10月第二例会 Zoom

8月 第二例会 報告

8月27日(火) 18:00～18:45に、Zoomにて第二例会を開催しました。当日は、欠席者多く、4人での開催でした。

9月ブリテンの取りまとめ担当今井となり、ブリテン記事

提出は9月10日必着で、各担当が決まりました。

兼ねて、東新部より部則・細則の改定案提示されており、9月中に改定案のクラブとしての意見集約が求められており、参加者により多数決で東新部案を賛成しました。

9月例会の卓話者は、今年の野尻学荘関係者に卓話を依頼することになりました。担当は神保会長。

以上が協議事項です。 (今井 記)

出席者:神保、伊丹、今井、堀口

東京YMCAニュース

▼【参加者募集】歴史クルーズ「第90回神田川船の会」(10/12)

「神田川船の会」は江戸・東京の街造りの歴史の名残り、近年の河岸の変貌をご覧いただく約2時間のクルーズです。1979(昭和54)年から毎年2回実施しており、今年で45年、90回目となります。「東京グリーンワイズメンズクラブ」のガイドで、昭和、平成、令和と、下町河川の浄化と護岸の緑化を願いながら、川筋に残る江戸文化、町づくりの歴史を紹介してまいりました。

詳細は東京YMCAのホームページをご確認ください。

▼野尻湖ニュース

8月3日～8月16にて第87回野尻学荘が開催されました。今回は43名のボーイズが参加し、元々途中離荘の予定だったボーイズ以外は全員無事に最終日まで野尻学荘を楽しむことができました。

また今年も、むかでクラブの今井さんにゲストとしてお越しいただきましたこと、ご寄付を賜りましたこと、この場を借りて御礼申し上げます。ありがとうございました。 (本多 記)

【野尻を訪問した今井夫妻】



【野尻学荘ボーイズたちによるキャンプファイヤー】

【野尻湖上でのボート実習】



8月会計報告・リングプル報告

1 月間収入・支出合計 期間 8/1～8/31

| 口座名 | 月間収入額 | 月間支出額 |
|-------|----------|----------|
| 経常部 | 184,000円 | 113,988円 |
| 活動基金部 | 6,026円 | 50,000円 |

■月次収支合計 : +26,038円

■現預金残高(現在): 501,276円

(収支の主な内訳)

・経常収入: 会費収入 175,000円(3名通期分+1名半期分)、例会参加費 9,000円

・活動基金収入: スマイル 6,000円

・経常支出: 東日本区費等 54,500円、東新部費等 45,700円、例会食事代 7,908円、各種手数料等 880円

・活動基金支出: 野尻学荘 50,000円 (福島 記)

2 プルタブ 8月預かり分報告

今月も夏休み?なのかな!と思ったら!?

中野区の齋藤昭七様グループからまたまた25.0kg報告が9月10日にありました。

NICガーデンステイツ白鳥管理組合0.4kgと合わせて25.4kg、まずまずの7月に並ぶスタートです。

ジックリ、ゆったり、騒がず、目標に向かって歩みを進めましょう! (神保 記)

編集後記

8月から9月にかけて、悲しいニュースが伝わってきましたが、その中でも特に、東新部のユース事業主査・城田教寛君(東京多摩スマイルクラブ)が、東京YMCA山中湖センターの自らが事業責任者となって、開催まで尽力された恒例の「リーダーズフォーラム」の会場で倒れ、天に召されたことです。51歳の働き盛りの方でした。驚きと悲しみで一杯です。

残された者として、私たちは彼の遺志を引き継いで、ユース事業を盛り立てていきましょう。 (今井 記)



【木々の間から「キツキハウス」を望む】